※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　学　国際文化科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
学 国際文化	（学）ドイツ語文化Ⅰ	2	2	「Szenen 1 heute aktuell 新スツェーネン１　場面で学ぶドイツ語」（三修社）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ドイツ語文化Ⅰでは、簡単な日常的コミュニケーションに必要な基本的能力を養うことを目指します。コンセプトは「五感を使って楽しく学ぶ」です。実際に声に出して練習しながら体で覚えることが大切で、音読によって言語のリズムやイントネーション、文メロディーを自然と身に付けていきます。ドイツ語特有の発音や冠詞の使い方、ドイツ語らしい語順など、まずはドイツ語自体に慣れていきます。また、ペアワークによる対話練習やグループでのアクティビティを通じて、単語や表現を楽しく覚えるコツも学びます。さらに調べ学習によるプレゼンを通して互いに学び合い、おりにふれて文化や生活習慣などを紹介しながら、ドイツ語圏の国々や言語に対する興味を高めます。

２ 学習の到達目標

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・アルファベットや数字，短い対話や説明文などを聞いて、情報の概要をとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどのドイツ語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	・短い説明文を読んで、情報の概要をとらえることができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	・基本的な語彙や表現を用いて相手と簡単な質疑応答をすることができる。 ・正しい発音やリズム、イントネーションなどのドイツ語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・基本的な語彙や表現を用いて自己紹介や第三者のことを紹介できる。 ・正しい発音やリズム、イントネーション、文メロディーなどの音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら、１～２分のテキストを暗唱することができる。	・基本的な語彙や表現を用いて自分や簡単なテーマについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる基本的な知識・技能を身に着けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	コミュニケーションを行う場所・目的・状況などに応じて日常的な話題について、必要な情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝えあったりしている。	聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら主体的に自分の意見や考えなどを話したり書いたりしてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	L1 人と知り合う 規則動詞(1/2人称)と不規則動詞 sein の現在人称変化・数詞・疑問文・疑問詞・名詞の性と冠詞（定冠詞と所有冠詞)・人称代名詞１格(主語)	聞くこと	a: ドイツ語の音声の特徴を理解し、場面に適した挨拶、名前や都市名（アルファベット）、電話番号や郵便番号(数字)などを聞き取ることができる。 b: 身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニング テスト
		読むこと	a: ドイツ語特有の文構造を理解しながら読むことができる。 b: 身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地）に関するドイツ語で書かれた文章を読み、要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地）に関するドイツ語で書かれた文章を読み、要点をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地・趣味）に関する質疑応答で用いる表現や言い回しを理解している。 b: 身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地・趣味）について簡単な語句や文を用いて話している。 c: 身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地・趣味）について簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	スピーキング （授業観察 ／テスト）
		書くこと	a: 自分と相手に関する身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地・趣味）を伝えるために必要な書く技能を身に付けている。 b: 自分と相手に関する身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地・趣味）について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自分と相手に関する身近な話題（名前・体の調子・出身・居住地・趣味）について簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2	L2 国・言語・専攻科目 規則動詞(３人称単数)と不規則動詞 haben と sprechen・動詞の位置と語順・冠詞の使い方	聞くこと	a: ２桁～３桁の数字や具体的な名詞(国名・言語・履修科目・曜日)を聞き取ることができる。 b: 身近な話題に関する会話（人を紹介する・出身国・話せる言語・学んでいる言語・履修科目・曜日）を聞き、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題に関する会話（人を紹介する・出身国・話せる言語・学んでいる言語・履修科目・曜日）を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニング テスト
		読むこと	a: 文法（動詞の位置や疑問文・平叙文の語順の決まり）を理解し、情報を理解することができる。 b: 身近な話題(ドイツの留学生について)に関するテキストを読み、具体的な数字や名詞をとらえ、話の展開や書き手の意図を把握している。内容について疑問文をつくることができる。 c: 身近な話題(ドイツの留学生について)に関するテキストを読み、具体的な数字や名詞をとらえ、話の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 身近な話題（人を紹介する・出身国・話せる言語・学んでいる言語・履修科目など）に関する会話）について、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 身近な話題（人を紹介する・出身国・話せる言語・学んでいる言語・履修科目など）について、自分の状況を伝え、やり取りを続けることができる。 c: 自らに関する事柄を相手に伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	スピーキング （授業観察 ／テスト）
		書くこと	a: 文法（動詞の位置や疑問文・平叙文の語順の決まり）を理解し、伝えたい情報を正しく書くことができる。 b: 与えられたキーワードのみで第三者について書くことができる。実際の場面を想定した会話を適切な語彙や表現を使って書くことができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	L3 食事	聞くこと	a: 食べ物や飲み物の単語、趣味で使われる表現を正しく聞き取ることができる。	リスニング テスト

※令和４年度以降入学生用

	不規則動詞 essen・ 副詞 gern の 比較級/最上級・並列の接続詞・頻度の副詞・否定疑問文(doch の用法) L4 趣味 不規則動詞 fahren, sehen, lesen・ 話法の助動詞 möchten		b: 身近な話題（食べ物・飲み物の好みや趣味）に関する会話を聞いて、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（食べ物・飲み物の好みや趣味）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	
		読むこと	a: 文法（ドイツ語特有の語順や副詞や接続詞の使い方）を理解し、情報を理解することができる。 b: 身近な話題（ドイツの食事や余暇の過ごし方）に関する文章をよみ、話の展開を把握することができる。 c: 身近な話題（ドイツの食事や余暇の過ごし方）に関する文章を読み、日本の場合と比較しながら内容を理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: １～２分のテキストを正しい発音、イントネーションで暗唱することができる。 b: １～２分のテキストを正しい発音、イントネーションだけでなく、ドイツ語のもつリズムや文メロディーを意識しながら暗唱することができる。 c: １～２分のテキストを正しい発音、イントネーション、ドイツ語のもつリズムや文メロディーを意識しながら、さらに感情をこめて暗唱しようとしている。	スピーキング 発表
		書くこと	a: 文法（ドイツ語特有の語順・副詞と接続詞の使い方）を理解して、必要とされる情報を書くことができる。 b: 身近な話題（ドイツの食事や余暇の過ごし方）について、自分の体験をもとに考え、自分の状況を書くことができる。 c: 身近な話題（ドイツの食事や余暇の過ごし方）について、自分の体験をもとに比較し、自分の状況を意欲的に書き、理解してもらおうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3	レストランでの場面(注文や支払い) L5 家族と職業 複数形・否定冠詞・形容詞・冠詞の１格(主格)と４格(直接目的語)	聞くこと	a: 家族や職業に関する表現を正しく聞き取ることができる。 b: 身近な話題（家族や職業）に関する会話を聞いて、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（家族や職業）に関する会話を聞いて、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニング テスト
		読むこと	a: 文法（不定冠詞・否定冠詞・所有冠詞の１格主語/４格直接目的語や否定疑問文）の構造を理解することができる。 b: 身近な話題（家族や職業、レストランでの場面）に関する文章を読み、概要を理解したり、話の流れを把握したりすることができる。 c: 身近な話題（家族や職業、レストランでの場面）に関する文章を読み、概要や話の流れを理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: ドイツ語の音声や語彙、表現(家族や職業、レストランでの会話・否定冠詞を使った否定文や否定疑問文)の理解を深め、適切な文法を活用して、話をすることができる。 b: 身近な話題（家族や職業、レストランでの場面）で状況に応じた表現を用い、自分の希望や意思を伝えることができる。また、質問に対して適切な応答を行うことができる。 c: 身近な話題（家族や職業、レストランでの場面）で状況に応じて、自分の希望や意思を主体的、意欲的に伝え、積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	スピーキング （授業観察 ／テスト）
		書くこと	a: 身近な話題（家族や職業、レストランでの場面）について基本的な語彙、文法表現を理解し、書くことができる。 b: 身近な話題（家族や職業、レストランでの場面）について、状況に応じた語彙や表現を効果的に使い、自分の希望や意思を適切に書くことができる。 c: 身近な話題（家族や職業、レストランでの場面）について、状況に応じた語彙や表現を効果的に使い、自分の希望や意思を明確かつ適切に書き、意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度